

Lightning Web Components について

 Slides are here

スライド:<https://powerninja.github.io/SSCLWC/ja/index.html>

リポジトリ:<https://github.com/powerninja/SSCLWC>

はじめに

- summer19 に登場し、はや 3 年半立ちました。
(当時自分はいませんでした 😅)
- フロントの開発では、Aura や visualforce よりも選択される機会が増えてきていると思うので、少しずつ始めてみましょう! 😊👍

トピックス

1. salesforce における画面開発の種類
2. Lightning Web Components とは
3. なぜ Lightning Web Components を選択するのか
4. Lightning Web Components と Aura の違い → いらない？

salesforce における画面開発の種類

- 画面フロー
 - フローで実現可能な場合こちらをチョイス
- visualforce
 - jsp 風開発
- Aura
 - 基本は使用しない
- **Lightning Web Components**
 - WEB 標準な開発

salesfoce における画面開発

- フローが使えないので、絵で書く？

```
graph TD
  A[画面開発] -->|開発がしたい| B(画面フロー)
  B --> C{足らないな}
  C -->|jsp風開発| D[visualforce]
  C -->|開発者コンソールを使いたい| E[Aura]
  C -->|javascriptを使用したい| F[LWC]
```

なぜ Lightning Web Components を選 択するのか

1. ミリ単位の調整
2. 外部ライブラリの使用
3. javascript 開発に慣れている

Markdown 例

```
---  
marp: true  
paginate: true  
---  
  
<!-- _paginate: false -->  
  
# About [Marp CLI Action](https://github.com/KoharaKazuya/marp-cli-action) <!-- fit -->  
  
---  
  
## [Marp CLI Action](https://github.com/KoharaKazuya/marp-cli-action) is...
```

[このスライドのソース](#) を参照してください。

"Marp CLI Action" は何を提供するの？

GitHub Action として [Marp CLI](#) を実行します。

リポジトリ内の Markdown ファイルから HTML、PDF、PowerPoint、画像を生成の自動化を素早く簡単にセットアップできます。

使い方

1. ワークフローに以下を追加します

```
- uses: KoharaKazuya/marp-cli-action@v1
```

または

1. [このテンプレート](#) を使用し、リポジトリを作成します
2. Marp の Markdown を書きます
3. コミットし、プッシュします

Marp CLI Action は Markdown からファイルを生成するのみです。

アップロード、リリース、公開などをしたい場合は他のアクションを

オプション

`action.yml` の `inputs` セクションを参照してください。

Marp CLI をカスタマイズするには `marp.config.json`、`marp.config.cjs`、`.marprc` [といった Marp CLI の設定ファイル](#) を使用してください。

設定ファイルはリポジトリルートに置くか、`config-file` input を指定します。

日本語ユーザーへ; Marp CLI オプションとして `lang: ja-JP` を指定してください。そうした場合、Marp CLI Action は CJK フォント問題を修正します。

楽しくスライドを書こう！ 🙌